

# 理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for  
Science and Technology  
Newsletter

## 私の1冊

物理情報工学科

**佐藤 徹哉**先生

『宇宙から学ぶ：ユニバソロジー  
のすすめ / 毛利衛著』

配架場所：本館2階新書・文庫コーナー



本書は様々な視点でものを見ることを意味する「ユニバソロジー」という著者の造語について述べています。著者は地球を外から眺めたとき、すべてが繋がっているという感覚を覚え、生命が時間・空間的に繋がって生きていることを意識したそうです。そして、生命は地球上で生き延びるために新たな環境を求めて挑戦をして生活圏を広げた結果、多様性が増して繁栄がもたらされたのだと気づき、個の挑戦は生命全体が生き延びる可能性が増すからこそ必要であると考えてに至ったと述べています。我々は新しい価値という多様性を生み出すための挑戦をしますが、これは個の利益ではなく、生命全体の発展の源になるからこそこの挑戦であるということに気づかされます。

## Contents

科学英語論文と研究戦略セミナー **P.1**

写真展「エコール・ポリテクニク、  
学生たちの日本へのまなざし」 **P.1**

年末年始恒例 本の福袋 **P.2**

請求記号について **P.2**

第15回サイエンスカフェを開催しました **P.2**

## セミナー エルゼビア・ジャパン講師による

# 科学英語論文と研究戦略セミナー

これから国際論文を執筆される方を主な対象に、世界最大の学術出版社であるエルゼビア社の日本人より講師をお招きし、出版社の立場から、論文執筆に役立つ知識や考え方を解説していただきます。ぜひご参加ください。

【日時】12月7日(金) 15:00-17:30  
【会場】矢上キャンパス14-201 (セミナールーム1)  
【対象】慶應義塾所属者  
※特に若手研究者の方、博士課程の学生  
【講師】エルゼビア・ジャパン  
【内容】

パート1: アクセプトされる論文とは(15:00-16:30)  
先行研究を調査する/適切なジャーナルの  
選択/論文の構造/出版倫理

パート2: 研究戦略の考え方(16:45-17:30)  
論文の評価方法の潮流/インパクトの大きい  
論文の特徴/研究トレンドを調査する

※パート1、2 いずれかのみ参加も可能です。

Elsevier Japan トレーナーが詳しく解説!

## 科学英語論文と研究戦略セミナー

2018年12月7日(金) 15:00 - 17:30

会場: 矢上キャンパス14棟201教室 (セミナールーム1)  
対象: 慶應義塾所属者 (特に若手研究者の方、博士課程の学生)  
講師: エルゼビア・ジャパン  
申込: 理工学メディアセンターWebサイト  
「申し込み」メニュー「科学英語論文セミナー」より事前申込  
<http://www.sctech.kyushu.ac.jp/>  
※パート1、パート2どちらかだけの参加も可能です。

**パート1 15:00-16:30**  
アクセプトされる論文とは

出版社の立場から、アクセプトされるジャーナル論文執筆のポイントや投稿からジャーナル掲載までの流れについて紹介します。  
 ① 先行研究を調査する  
 ② 適切なジャーナルの選択  
 ③ 論文の構造  
 ④ 出版倫理

**パート2 16:45-17:30**  
研究戦略の考え方

若手研究者の方が若手時代に研究のテーマや戦略を定める際に役立つ知識・考え方を紹介します。  
 ① 論文の評価方法の潮流  
 ② インパクトの大きい論文の特徴  
 ③ 研究トレンドを調査する

お問い合わせ: 理工学メディアセンター・レファレンスデスク 平日8:45-17:00  
電話:045-566-1477 内線:40307 Email:rmc-ref-group@keio.jp

【参加申込】  
理工学メディアセンターWebサイト>  
申し込む> 科学英語論文セミナー



## 展示 写真展「エコール・ポリテクニク、 学生たちの日本へのまなざし」

写真展 エコール・ポリテクニク、  
学生たちの日本へのまなざし

日仏交流160周年記念  
慶應義塾大学矢上キャンパス巡回展

期間:  
2018年10月15日(月)  
- 12月15日(土)

会場:  
慶應義塾大学 矢上キャンパス  
理工学メディアセンター  
(松下記念図書館) 本館1階

お問い合わせ:  
photo@japan@polytechnique.fr

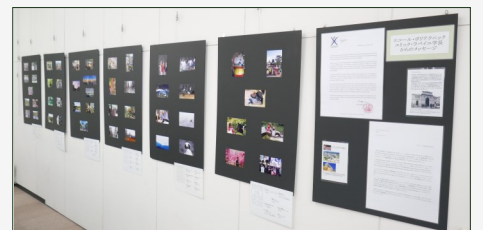
本展は、2017年1月10日 - 2月27日にフランスのエコール・ポリテクニクで開催された写真展を日本に巡回展示する企画で、駐日フランス大使館認定の「日仏交流160周年記念事業」として、東京大学駒場キャンパスに続き慶應義塾大学矢上キャンパスでの開催となりました。

慶應義塾大学の海外協定校であるエコール・ポリテクニクは理工系の超一流校で、科学史に名を残す人物を数多く輩出しています。

エコール・ポリテクニクの学生・卒業生・教職員がファインダーを通して見た「日本のすがた」を展示いたします。ぜひご覧ください。

エコール・ポリテクニク Webサイト  
<仏語>[www.polytechnique.edu/](http://www.polytechnique.edu/)  
<英語>[www.polytechnique.edu/en](http://www.polytechnique.edu/en)

【期間】10月15日(月) - 12月15日(土)  
【場所】理工学メディアセンター 本館1階



今月の1枚：  
気がつきましたか？



皆さんは本館2階にあるグループ学習室を利用したことがありますか？部屋の中は、全体的にポップな色使いで、ファミレス型のベンチソファに仕切られた空間でグループディスカッションができます。

もともと壁面ホワイトボードを採用していましたが、今年の秋、さらに一面を増設しました。私が矢上にやってきて他のキャンパスと違うと感じたことのひとつに、ホワイトボードの使い方があります。数式を横へ横へと流れるように書く様子は、理工学部ならではの光景ではないでしょうか。さらに、いくつかのおしゃれなツールも取り入れました。皆さんにとってより良い環境を作るため、グループ学習室も少しずつ変化しています。

イベント

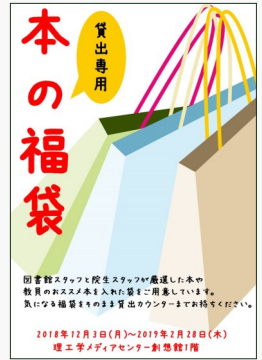
# 年末年始恒例「本の福袋」

年末年始恒例となった「本の福袋」、今年もやります！読みやすい本のコーナー(創想ライブラリー、新書・文庫コーナー)と、今年もAVコーナーからも、図書館スタッフと院生スタッフが厳選した2~3冊が入っています。

どんな本が入っているのかは、福袋を開けてみてのお楽しみ。中身のヒントとなるテーマとコメントは個性豊かなものばかりです。ぜひ、気になった福袋を借りてみてくださいね。

【期間】12月3日(月) - 2019年2月28日(木)

【場所】理工学メディアセンター創想館1階



バックヤード紹介

## 請求記号について

図書の背ラベルに記入されている、数字やアルファベットを組み合わせた記号を「請求記号」と呼びます。内容が似ている図書や、同じ著者が執筆した図書が隣り合わせで並ぶようにするための、いわば本の住所のようなものです。

理工学メディアセンター本館2階に配架されている図書の請求記号は、

- 1段目 = 「日本十進分類法(NDC)」による分類番号
- 2段目 = 著者の姓の頭文字1文字(アルファベット大文字)+受入順の番号
- 3段目 = 著作番号+版表示 (-R1とあるものは改版1回という意味)
- 4段目 = 複本表示(1冊目は空欄)

という決まりになっています。

※本館2階以外の場所に配架されている図書は、別の規則によって請求記号が決まっています。

※古い時代に受入された図書の請求記号は、上記の規則に則っていない場合があります。

※2段目は著者の姓ではなく、シリーズ名やプログラミング言語の頭文字などの場合があります。

日本十進分類法(NDC)による分類番号

著者の姓の頭文字1文字(アルファベット大文字)+受入順の番号

著作番号+版表示

複本表示(1冊目は空欄)



請求記号は、各々の図書館が自由に決めてよいことになっています。慶應大学の中でも、各キャンパスのメディアセンターがそれぞれ独自の規則に従って決めています。今度、他の図書館の書架もじっくり眺めてみてください。理工学メディアセンターの請求記号との違いを発見できるかもしれません。

### メディアセンター豆知識

#### ラウンジ雑誌の紹介

創想館学習エリア付近にラウンジ雑誌があります。左側に経済系、右側に科学系の雑誌を配置しています。経済系の雑誌には週刊東洋経済や日経ビジネス等があり、科学系の雑誌にはNatureやScience等があります。

上記で挙げた雑誌はメディアセンターが契約しているデータベースからも読むことができますが、ラウンジコーナーでゆったりとしたソファに腰をかけて読んだり、中身をちょっと見たりすることもできます。矢上キャンパス所属者なら1日貸出も可能です。ただし、他のキャンパスで返却することができませんので、注意してくださいね。

イベント報告

## 第15回サイエンスカフェを開催しました

10月24日(水)に、機械工学科の石上玄也先生を講師にお迎えし、第15回サイエンスカフェ「“流浪者”が拓く宇宙探査とその未来」を開催しました。

講演では、石上先生のJAXAでのご経験談も交えながら、宇宙探査ロボットの研究についてわかりやすくご説明いただきました。また、研究室で開発中のROVERのデモンストレーションも行われ、参加者からは熱い視線が送られていました。講演後には石上先生と学生が和やかにROVERを囲む様子が見られました。

機械工学科だけでなく、他学科・他学部の学生や教職員の参加も多く、「普段聞くことのできない月惑星探査について教えていただき楽しかった」「大変興味深いお話でした。ワクワクするような内容で楽しかったです」といったご感想をいただきました。多数のご参加、ありがとうございました。



### 発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

E-mail: [rmc-info-group@keio.jp](mailto:rmc-info-group@keio.jp)

Webサイト



Twitter



電子版はWebサイト「図書館について」メニューにある「刊行物・統計」よりご利用ください。